

## J-DOIT2 NEWS レター 第5号 (2007年8月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤に差しかかっております。研究期間終了時には各被験者様にアンケートへお答えいただく予定です。来月頃には早くに登録いただいた被験者様の終了が予定されておりますので、随時お答えいただく予定となっております。

#### ■ 被験者終了日一覧送付のお知らせ

被験者終了日一覧を同封させていただきました。各被験者様の終了日をご確認いただきますようお願い申し上げます。なお、最終登録被験者の研究終了日から約1ヶ月後がCRCの最終訪問日となります。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

#### ■ 被験者様用の終了時パック返却のお願い

被験者様用の終了時パック返却のお願いのお手紙はお手元に届いておりますでしょうか。被験者様用の終了時パックは診療支援センターから被験者様に郵送で送ることといたしましたので、お手数ですがお手元の終了時パックにつきまして、診療支援センターまでご返却いただきますようお願い申し上げます。

#### ■ J-DOIT2 ホームページ開設のお知らせ

J-DOIT2 のホームページが開設されました。ご覧頂きますようお願い申し上げます。

<http://www.jdoit2.jp>

#### 【砺波・南砺・射水医師会 登録状況】

被験者登録数

259 例

中止症例数

15 例 (※7 月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第5号 (2007年8月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤に差しかかっております。研究期間終了時には各被験者様にアンケートへお答えいただく予定です。来月頃には早くに登録いただいた被験者様の終了が予定されておりますので、随時お答えいただく予定となっております。

#### ■ 被験者終了日一覧送付のお知らせ

被験者終了日一覧を同封させていただきました。各被験者様の終了日をご確認いただきますようお願い申し上げます。なお、最終登録被験者の研究終了日から約1ヶ月後がCRCの最終訪問日となります。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

#### ■ 被験者様用の終了時パック返却のお願い

被験者様用の終了時パック返却のお願いのお手紙はお手元に届いておりますでしょうか。被験者様用の終了時パックは診療支援センターから被験者様に郵送で送ることといたしましたので、お手数ですがお手元の終了時パックにつきまして、診療支援センターまでご返却いただきますようお願い申し上げます。

#### ■ J-DOIT2 ホームページ開設のお知らせ

J-DOIT2 のホームページが開設されました。ご覧頂きますようお願い申し上げます。

<http://www.jdoit2.jp>

#### 【足立区医師会 登録状況】

被験者登録数	450 例
中止症例数	76 例 (※7 月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第5号 (2007年8月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤に差しかかっております。研究期間終了時には各被験者様にアンケートへお答えいただく予定です。来月頃には早くに登録いただいた被験者様の終了が予定されておりますので、随時お答えいただく予定となっております。

#### ■ 被験者終了日一覧送付のお知らせ

被験者終了日一覧を同封させていただきました。各被験者様の終了日をご確認いただきますようお願い申し上げます。なお、最終登録被験者の研究終了日から約1ヶ月後がCRCの最終訪問日となります。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

#### ■ 被験者様用の終了時パック返却のお願い

被験者様用の終了時パック返却のお願いのお手紙はお手元に届いておりますでしょうか。被験者様用の終了時パックは診療支援センターから被験者様に郵送で送ることといたしましたので、お手数ですがお手元の終了時パックにつきまして、診療支援センターまでご返却いただきますようお願い申し上げます。

#### ■ J-DOIT2 ホームページ開設のお知らせ

J-DOIT2 のホームページが開設されました。ご覧頂きますようお願い申し上げます。

<http://www.jdoit2.jp>

#### 【君津木更津医師会 登録状況】

被験者登録数	293 例
中止症例数	49 例 (※7 月末時点)

～J-DOIT2 の進捗状況～

J-DOIT2 研究リーダー事務局 山崎 勝也先生  
富山大学医学部第一内科

残暑厳しき折、先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年は特に暑い夏で、少々お疲れ気味ではないでしょうか。

日頃は日常診療でお忙しいなか、J-DOIT2 研究へのご参加、ご協力、誠にありがとうございます。パイロット研究も研究期間の半ばを過ぎました。出来るだけ先生方のお手を煩わせないようにと考えたつもりではありますが、多々ご迷惑をお掛けしていることと思います。ご迷惑をお掛けしつつ、ここまで無事遂行できていることに感謝いたします。本パイロット研究でどのような部分に不都合、不具合、ご迷惑をお掛けしたかを先生方からお聞きして、次の大規模研究に活かしていきたいと考えております。

さて、診療支援群の医師会の先生方には、IT による診療支援システムをご利用いただけるようになりました。研究開始時より施行予定でありましたが、諸事情により開始が遅れてしまいました。これは、正確な IT 支援を行うにあたり、予想以上にデータ項目を取る必要が生じ、またそのデータを IT システムに取り込む際に不具合があり、その調整に時間を要しました。利用開始が遅れてしまい、ご迷惑をお掛けしたことをお詫びするとともに、残りの研究期間、ぜひご利用いただき、実際に使われた感触を教えていただきたいと思っております。

もう一つお知らせがあります。この度、J-DOIT2 のホームページを立ち上げました (URL: <http://www.jdoit2.jp>)。このホームページからもお役にたつような情報を発信していければと考えております。ぜひ一度訪れていただき、ご意見などいただければ幸いです。

最後になりましたが、残りの研究期間も変わらずご協力を賜りますことをお願いいたします。

以上

## J-DOIT2 NEWS レター 第6号(2007年9月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤に差しかかっております。研究期間終了時には各被験者様にアンケートにお答えいただく予定です。今月から研究が終了する被験者様がいらっしゃるの  
で、随時お答えいただく予定となっております。

#### ■ 被験者様用の終了時バック返却のお願い

お手紙にて依頼させていただいておりました、被験者様用の終了時バック返却につきまして再度ご案内させていただきます。被験者様用の終了時バックは診療支援センターから被験者様に郵送で送ることといたしましたので、まだお手元に終了時バックがございます施設につきましては診療支援センターまでご返却いただきますようお願い申し上げます。

#### ■ 受診中断アンケートについて

被験者様に受診中断が発生している場合、その理由についてお聞かせいただくアンケートを診療支援センターから各被験者様に送付いたします。該当被験者様の研究終了後に送付する予定としております。

#### 【和泉泉大津医師会 登録状況】

被験者登録数

583 例

中止症例数

11 例 (※8月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第6号(2007年9月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤に差しかかっております。研究期間終了時には各被験者様にアンケートにお答えいただく予定です。今月から研究が終了する被験者様がいらっしゃるの  
で、随時お答えいただく予定となっております。

#### ■ 被験者様用の終了時パック返却のお願い

お手紙にて依頼させていただいておりました、被験者様用の終了時パック返却につきまして再度ご案内させていただきます。被験者様用の終了時パックは診療支援センターから被験者様に郵送で送ることといたしましたので、まだお手元に終了時パックがございます施設につきましては診療支援センターまでご返却いただきますようお願い申し上げます。

#### ■ 受診中断アンケートについて

被験者様に受診中断が発生している場合、その理由についてお聞かせいただくアンケートを診療支援センターから各被験者様に送付いたします。該当被験者様の研究終了後に送付する予定としております。

#### 【砺波・南砺・射水医師会 登録状況】

被験者登録数

259 例

中止症例数

15 例 (※8 月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第6号(2007年9月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤に差しかかっております。研究期間終了時には各被験者様にアンケートにお答えいただく予定です。今月から研究が終了する被験者様がいらっしゃるの  
で、随時お答えいただく予定となっております。

#### ■ 被験者様用の終了時パック返却のお願い

お手紙にて依頼させていただいておりました、被験者様用の終了時パック返却につきまして再度ご案内させていただきます。被験者様用の終了時パックは診療支援センターから被験者様に郵送で送ることといたしましたので、まだお手元に終了時パックがございます施設につきましては診療支援センターまでご返却いただきますようお願い申し上げます。

#### ■ 受診中断アンケートについて

被験者様に受診中断が発生している場合、その理由についてお聞かせいただくアンケートを診療支援センターから各被験者様に送付いたします。該当被験者様の研究終了後に送付する予定としております。

#### 【足立区医師会 登録状況】

被験者登録数

450 例

中止症例数

76 例 (※8月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第6号(2007年9月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤に差しかかっております。研究期間終了時には各被験者様にアンケートにお答えいただく予定です。今月から研究が終了する被験者様がいらっしゃるの  
ので、随時お答えいただく予定となっております。

#### ■ 被験者様用の終了時パック返却のお願い

お手紙にて依頼させていただいておりました、被験者様用の終了時パック返却につきまして再度ご案内させていただきます。被験者様用の終了時パックは診療支援センターから被験者様に郵送で送ることといたしましたので、まだお手元に終了時パックがございます施設につきましては診療支援センターまでご返却いただきますようお願い申し上げます。

#### ■ 受診中断アンケートについて

被験者様に受診中断が発生している場合、その理由についてお聞かせいただくアンケートを診療支援センターから各被験者様に送付いたします。該当被験者様の研究終了後に送付する予定としております。

#### 【君津木更津医師会 登録状況】

被験者登録数	293 例
中止症例数	49 例 (※8月末時点)



## J-DOIT2 NEWS レター 第7号(2007年10月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤となり、研究が終了された被験者様には終了後アンケートを随時送付しております。研究が終了された被験者様をご来院されたときには、アンケートを返送いただくよう促していただければ幸いです。

#### ■ 健康機器の送信器の取り扱いについて

被験者様にお渡ししている健康機器の送信器は、研究終了後に回収するのではなく、廃棄をお願いすることといたしました。一部地域によっては廃棄が有料であることがわかりましたので、その場合は健康機器相談窓口へご連絡いただき、返送いただくこともできるよういたしました。被験者様へは終了時アンケートの送付時にこの件のお知らせを同封しております。

#### ■ 健康機器の送信データの終了について

終了時アンケートを送付した時点で、被験者様からの健康機器からのデータ送信の受付を終了します。

#### 【和泉泉大津医師会 登録状況】

被験者登録数	583 例
中止症例数	11 例 (※9月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第7号(2007年10月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤となり、研究が終了された被験者様には終了後アンケートを随時送付しております。研究が終了された被験者様をご来院されたときには、アンケートを返送いただくよう促していただければ幸いです。

#### ■ 健康機器の送信器の取り扱いについて

被験者様にお渡ししている健康機器の送信器は、研究終了後に回収するのではなく、廃棄をお願いすることといたしました。一部地域によっては廃棄が有料であることがわかりましたので、その場合は健康機器相談窓口へご連絡いただき、返送いただくこともできるよういたしました。被験者様へは終了時アンケートの送付時にこの件のお知らせを同封しております。

#### ■ 健康機器の送信データの終了について

終了時アンケートを送付した時点で、被験者様からの健康機器からのデータ送信の受付を終了します。

#### 【砺波・南砺・射水医師会 登録状況】

被験者登録数	259 例
中止症例数	15 例 (※9月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第7号(2007年10月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤となり、研究が終了された被験者様には終了後アンケートを随時送付しております。研究が終了された被験者様をご来院されたときには、アンケートを返送いただくよう促していただければ幸いです。

#### ■ 健康機器の送信器の取り扱いについて

被験者様にお渡ししている健康機器の送信器は、研究終了後に回収するのではなく、廃棄をお願いすることといたしました。一部地域によっては廃棄が有料であることがわかりましたので、その場合は健康機器相談窓口へご連絡いただき、返送いただくこともできるよういたしました。被験者様へは終了時アンケートの送付時にこの件のお知らせを同封しております。

#### ■ 健康機器の送信データの終了について

終了時アンケートを送付した時点で、被験者様からの健康機器からのデータ送信の受付を終了します。

#### 【足立区医師会 登録状況】

被験者登録数	450 例
中止症例数	76 例 (※9 月末時点)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

## J-DOIT2 トピックス

### ■ 研究概況

パイロット研究期間も終盤となり、研究が終了された被験者様には終了後アンケートを随時送付しております。研究が終了された被験者様がお来院されたときには、アンケートを返送いただくよう促していただければ幸いです。

### ■ 健康機器の送信器の取り扱いについて

被験者様にお渡ししている健康機器の送信器は、研究終了後に回収するのではなく、廃棄をお願いすることといたしました。一部地域によっては廃棄が有料であることがわかりましたので、その場合は健康機器相談窓口へご連絡いただき、返送いただくこともできるよういたしました。被験者様へは終了時アンケートの送付時にこの件のお知らせを同封しております。

### ■ 健康機器の送信データの終了について

終了時アンケートを送付した時点で、被験者様からの健康機器からのデータ送信の受付を終了します。

### 【君津木更津医師会 登録状況】

被験者登録数	293 例
中止症例数	50 例 (※9 月末時点)

～データから情報を創りだす診療支援 IT システム

現場のマネジメントを支援するための理論の実践化の試み～

J-DOIT2 診療支援 IT システム設計・開発・運用  
NPO 法人 ヘルスサービス R&D センター(CHORD-J)  
青木則明、大田祥子、大石まり子

J-DOIT2 の研究支援組織の一つとして「診療支援 IT システム」の設計・開発・運用を担当しております NPO 法人ヘルスサービス R&D センターからご挨拶をさせていただきます。診療支援群としてご参加なさっている先生方には毎週、カバーレターをお送りしておりますが、非支援群の先生方は、私達のことをご存知ない方々もいらっしゃるのではと思います、まず、自己紹介をさせていただきます。

ヘルスサービス R&D センターは、よりよい医療・健康サービスを提供するために情報の活用とマネジメントを勉強、研究、啓発することを目的として、2004 年 6 月に医師を中心として設立された特定非営利活動法人 (NPO) で、通称、CHORD-J (コード・ジェイ) と名乗っています。

CHORD-J の実績としては、教育面では、米国テキサス州のテキサス大学健康情報科学大学院と提携し、日本国内でのインフォマティクスの大学院教育 (米国の大学院修士課程)<sup>1</sup>の開講、そして、American College of Physician Executives という医療マネジメントを行う医師の学会と提携して医療マネジメント教科書の翻訳などを行ってまいりました。<sup>2</sup> 研究としては、1 型糖尿病患者さん向けのゲームを利用した教育ツール<sup>3, 4</sup>や、未破裂脳動脈瘤の患者さんの意思決定支援ツール<sup>5</sup>の開発・評価を行ってきました。また、テレメディシンを利用した緩和医療の医療技術評価も行っております。<sup>6</sup> さらに、システム開発や運用としては、2004 年から日本外傷学会と日本救急医学会が進めている日本外傷バンク (Japan Trauma Data Bank: JTDB) の設計・開発・運用を担当してまいりました。JTDB は 2007 年 10 月 1 日現在、約 19,000 人の患者が登録されております。

今回、私達 CHORD-J が設計・開発を担当させていただいた診療支援 IT システムは、その名の通り、臨床に有用な情報をリアルタイムで提示し、日常診療を支援することを目的としております。単なる IT (information technology : 情報技術) の専門家だけではこのようなコンセプトを実現することは難しいことです。まず、現場の臨床を理解していることが重要になります。その上で、臨床における情報の扱いやアウトカムのマネジメント、さらには EBM やガイドラインといった疫学的な分野を十分に理解したうえで、一つのアプリケーションとして統合するための学際的知識と技量が必要となります。

CHORD-J では今回の J-DOIT2 のシステム設計・開発に際して、内科あるいは糖尿病の専門医で情報学やマネジメント、そして疫学を体系的に学んできたメンバー数名と医療アプリケーションに造詣の深いシステム・エンジニアからなるチームを結成してプロジェクトに望みましたが、設計・開発においてはいくつかの苦勞もございました。

今回は、CHORD-J の目指す診療支援と IT の統合、そしてその実現へ向けてのちょっとした苦勞話などをご紹介します。

#### ■ 診療支援のゴール

医療のゴールは、各患者さんの「臨床アウトカムの改善」で、IT の活用、EBM の実践、ガイドラインの遵守、などは全てそのゴールを達成するための手段でしかありません。従って、それぞれの目標に対し、「何を持ってそれらが達成されたと判断するか？」という「成功基準」を決めることは非常に重要になります。例えば、「QOL が高い生活を送る」というゴールを設定した場合、医療者の考える QOL の高い生活と患者さんの考えるものは異なっているかもしれません。また、全ての患者が同じ基準で「生活の質」を実感しているとは限りません。従って、QOL をどのように測定し、どのような状態であれば「QOL の高い生活」といえるのかを明確に定義 (success criteria) する必要があります。例えば、SEIQOL インデックスで 80 点以上・・・のような形で表現が必要になってきます。

そして、ゴールが達成されたかは、結果 (アウトカム) で判断されます。仮に 100 人の慢性疾患の患者さんにケアを提供し、80 人がゴールの評価基準に達している場合、目標達成割合は 80% になります。このように、アウトカムとは後ろ向きの指標であり、会計で言う決算のような役割であると言えます。

### ■ 診療支援のための情報：インディケーター

それでは、もし、アウトカムを 80%から 100%に引き上げよう！と思ったら、どうすればいいのでしょうか？「100%を目指す！」というスローガンをあげる・・・というのでは不十分です？100%を達成するには、「100%を達成する仕組み」を作ることが必要です。さらに、「100%に向けての進捗状況」を、適宜、モニタリングし、医師に分かりやすくフィードバックすることが重要になってきます。

例えば、100%を達成するためには毎回の受診で A をしよう、そして B という状況になったら、C という介入をしよう・・・というのが、ゴール達成のための「仕組み」になります。そして、毎回、受診時に A が実行できているか？B になったことを見逃していないか？B になったら、必ず、C をしているか？をチェックすることがモニタリングです。そして、これらのモニタリングに際して、チェックすべき項目を「インディケーター（今回は、診療達成目標と呼んでいます）」と呼びます。従って、インディケーターは、目標に向けた前向きの指標とすることができます。診療支援とは、前向きのための情報提供ですので、インディケーターが重要な情報になります。

### ■ 情報を創り出す視点：データと情報の違い

目標達成に向けて、「今、どのくらいの位置にいるのか？」を判断するには、「データから情報を創り出す」という視点が重要です。そして、データから情報をリアルタイムに生成し、正確にかつタイミングよく提供するには、IT を活用する必要があります。しかし、IT の知識だけでは不十分で、「情報活用」、すなわち、インフォマティクスの知識と、臨床現場に対する知識と経験が必要です。

データと情報の違いを簡単に理解するには、地図とカーナビがいい例になります。地図を片手に目的地に向かう場合、地図が示しているのはデータです。ドライバーはそのデータを元に、自分の頭でルートを選び、目的地までの距離と時間などを計算します。それに対して、カーナビを利用して目的地を目指す場合、カーナビが提示するのは、「目的地に到達するために、今、すべきこと」です。これは、まさに「前向き」の情報提示と言えます。

前向きの情報であるインディケーターは、「ゴール」に基づいて決定される必要があります。従って、全ての医療機関が同じインディケーターに基づいて判断する必要はないかもしれません。例えば、地域ごと、医療機関ごと、あるいは個人でも、求められる役割に応じて、「日々、何を抛り所にして行動するか」は異なってくる可能性があります。つまり、インディケーターを明確にする意義は、プロフェッショナル（個人あるいは集団）として「何をゴールとして、どのような指標を基に行動しているか」を説明する責任と、「現時点で、それらをきちんと遂行していること」を明示する透明性、そして、チームにおける役割の明確性を担保するためとも言えるのです。

## ■ 診療支援 IT システムによる苦勞：定義をシステムに落とし込む

J-DOIT2 では、13 のインディケータ、すなわち、診療達成目標が定義されています。この診療達成目標の表現は、医療者が考えるよりも感覚的で、IT システムの内部で診療支援をするには、一工夫必要になります。

例えば、「疾患 A の患者は、3 ヶ月に 1 度、B という検査を受ける必要がある」という定義があるとします。人間の目で読めば、なんてことのないこの文章も、診療支援 IT システムで活用するには、以下のような内容まで考慮する必要があります。

- (1) 疾患 A の定義は何か？
- (2) 3 ヶ月に 1 度とは、カレンダー上 3 ヶ月か？90 日間なのか？それとも  $28 \times 3 = 54$  日間か？
- (3) 「検査し忘れ」を防ぐためのリマインダーを表示するタイミングはいつがベストか？
- (4) 医師の裁量で検査 B をしていない場合、「検査をあえてしなかった」ことをどのように計算するべきか？
- (5) 「検査をした」とは、検査オーダーが出されたことなのか？実施されたことなのか？それとも、結果が出た日をもって「検査した」ことになるのか？
- (6) 他院で B という検査をしたという記載があれば、その結果がなくとも、「検査した」とみなしていいのか？

これらは、臨床の運用、コンピュータ (IT) の特性、マネジメント上、表示すべき情報、そして疫学的考え方の全てが揃って、初めてシステム化が可能です。このような多方面に渡る知識や技術が必要な分野を学際的分野と呼んでいます。

## ■ 学際的チームの重要性

2003 年に米国医学研究所 (Institute of Medicine: IOM) は「医療の質 (原題: Crossing the Quality Chasm)」シリーズとして出版した「医療プロフェッショナルへの教育 (原題: Health Professions Education)」の中で、21 世紀の医療に携わる者は、(1) 患者中心の医療、(2) 多職種による職際的チームの推進、(3) EBM、(4) 質改善のアプローチ、(5) インフォマティクス (情報活用)、の 5 つの能力が必須であると述べています。2004 年の設立当時より、CHORD-J はこのような能力を持つ医療プロフェッショナルの教育と、これらを統合した研究・開発活動を実践すると同時に、メンバー自らが専門医としての知識に加え、臨床疫学、インフォマティクス、そしてマネジメントの勉強をして参りました。

今回の診療支援 IT システムは、患者中心の糖尿病診療を行うために、EBM に基づいた質改善のアプローチを日常診療の中で実現するための情報活用のための仕組みです。臨床、疫学、インフォマティクス、そして医療マネジメントの知識と技術を学際的に融合した仕組みであり、まさにこのコンセプトの実現化を目指したものと考えています。今回は、CRC の方々によるデータ入力と紙媒体による情報のフィードバックですので、「リアルタイム」の情報提供とまではいきませんが、今後、医師の負担を増やすことなく、正確で役立つ情報をタイムリーに届けることができるシステムに昇華させていき、少しでも医療のアウトカム向上に寄与したいと思っています。



<参考文献>

1. 青木則明、大田祥子、大石まり子、長谷川高志. HIMAP (Health Informatics / Management Program): テキサス大学健康情報科学大学院とNPOの協力による学際的教育プログラムの実際. 第24回医療情報学連合大会抄録集. 2004. <http://www.cs-oto.com/jcmi2004/paper/jcmi24/paper/x10356/p10356.html>
2. 青木則明、大田祥子、大石まり子監訳 (American College of Physician Executives 編集). 医療マネジメントのエッセンス: NPO 法人ヘルスサービス R&D センター (CHORD-J): 2007.
3. Aoki N, Ohta S, Okada T, Oishi M, Fukui T. INSULOT: a cellular phone-based edutainment learning tool for children with type 1 diabetes. *Diabetes Care* 2005;28:760.
4. Aoki N, Ohta S, Masuda H, et al. Edutainment tools for initial education of type-1 diabetes mellitus - initial diabetes education with fun. *Medinfo* 2004;2004:855-9.
5. Aoki N, Sakai M, Nakayama T, et al. u-SHARE: web-based decision support/risk communication tool for healthcare consumers with unruptured intracranial aneurysms. *Medinfo* 2007;12:1012-6.
6. Aoki N, Ohta S, Yamamoto H, Kikuchi N, Dunn K. Triangulation analysis of tele-palliative care implementation in a rural community area in Japan. *Telemed J E Health* 2006;12:655-62.

以上

## J-DOIT2 NEWS レター 第8号 (2007年11月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間もほぼ終盤となり、研究が終了された被験者様から終了後のアンケートが返送されてきております。アンケート回収率をあげるためにも引き続き、研究が終了された被験者様がお来院されたときには、アンケートを返送いただくよう促していただければ幸いです。

#### ■ 重篤有害事象報告書の「研究との因果関係」欄の記入につきまして

重篤有害事象報告書にあります「研究との因果関係」欄の記入につきまして、この研究との関係について記入していただくようお願いいたします。2型糖尿病との関連性ではありませんのでご注意ください。

#### ■ 試験実施中の文書の保管につきまして

記入いただきました中止報告書、重篤有害事象報告書などの文書類について、研究にて文書の保管が定められておりますので、必ず研究関連ファイルに保管いただきますようお願いいたします。なお、研究関連の資料を入れておくボックスも配布させていただいておりますので、こちらに関連書類を入れていただきますと、CRCが伺った際に必ずファイリングいたしますのでご活用ください。

#### ■ 研究終了後の文書の保管につきまして

研究終了後の文書の保管につきましては、個人情報が含まれるものは診療支援センターにて、それ以外のはデータセンターにて保管することとなりました。各施設で保管いただいている資料は研究終了後、全てを診療支援センターにお送りいただき、その後個人情報の含まれないものをデータセンターに送っていただく予定です。詳細につきましては別途お知らせいたします。

#### 【和泉泉大津医師会 登録状況】

被験者登録数	583 例
中止症例数	11 例
終了症例数	524 例 (※10月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第8号 (2007年11月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間もほぼ終盤となり、研究が終了された被験者様から終了後のアンケートが返送されてきております。アンケート回収率をあげるためにも引き続き、研究が終了された被験者様にご来院されたときには、アンケートを返送いただくよう促していただければ幸いです。

#### ■ 重篤有害事象報告書の「研究との因果関係」欄の記入につきまして

重篤有害事象報告書にあります「研究との因果関係」欄の記入につきまして、この研究との関係について記入していただくようお願いいたします。2型糖尿病との関連性ではありませんのでご注意ください。

#### ■ 試験実施中の文書の保管につきまして

記入いただきました中止報告書、重篤有害事象報告書などの文書類について、研究にて文書の保管が定められておりますので、必ず研究関連ファイルに保管いただきますようお願いいたします。なお、研究関連の資料を入れておくボックスも配布させていただいておりますので、こちらに関連書類を入れていただきますと、CRCが伺った際に必ずファイリングいたしますのでご活用ください。

#### ■ 研究終了後の文書の保管につきまして

研究終了後の文書の保管につきましては、個人情報が含まれるものは診療支援センターにて、それ以外のはデータセンターにて保管することとなりました。各施設で保管いただいている資料は研究終了後、全てを診療支援センターにお送りいただき、その後個人情報の含まれないものをデータセンターに送っていただく予定です。詳細につきましては別途お知らせいたします。

#### 【砺波・南砺・射水医師会 登録状況】

被験者登録数	259 例
中止症例数	15 例
終了症例数	209 例 (※10月末時点)

## J-DOIT2 NEWS レター 第8号 (2007年11月)

J-DOIT2 データセンター

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最新の研究の進捗状況をお知らせさせて頂いておりますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

### J-DOIT2 トピックス

#### ■ 研究概況

パイロット研究期間もほぼ終盤となり、研究が終了された被験者様から終了後のアンケートが返送されてきております。アンケート回収率をあげるためにも引き続き、研究が終了された被験者様にご来院されたときには、アンケートを返送いただくよう促していただければ幸いです。

#### ■ 重篤有害事象報告書の「研究との因果関係」欄の記入につきまして

重篤有害事象報告書にあります「研究との因果関係」欄の記入につきまして、この研究との関係について記入していただくようお願いいたします。2型糖尿病との関連性ではありませんのでご注意ください。

#### ■ 試験実施中の文書の保管につきまして

記入いただきました中止報告書、重篤有害事象報告書などの文書類について、研究にて文書の保管が定められておりますので、必ず研究関連ファイルに保管いただきますようお願いいたします。なお、研究関連の資料を入れておくボックスも配布させていただいておりますので、こちらに関連書類を入れていただきますと、CRCが伺った際に必ずファイリングいたしますのでご活用ください。

#### ■ 研究終了後の文書の保管につきまして

研究終了後の文書の保管につきましては、個人情報が含まれるものは診療支援センターにて、それ以外のはデータセンターにて保管することとなりました。各施設で保管いただいている資料は研究終了後、全てを診療支援センターにお送りいただき、その後個人情報の含まれないものをデータセンターに送っていただく予定です。詳細につきましては別途お知らせいたします。

#### 【足立区医師会 登録状況】

被験者登録数	450 例
中止症例数	76 例
終了症例数	310 例 (※10月末時点)